

保健だより



令和3年12月17日
川口市立戸塚中学校 保健室

早いもので2学期もまもなく終わろうとしています。コロナウイルスの爆発的な拡大から始まった2学期。分散登校だった時がずいぶん前のような気がしてしまいます。

合唱祭、学年体育祭、修学旅行、校外学習。様々な行事や勉強に頑張る姿を保健室からいつも応援していました。

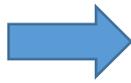
年末が近づき、3年生の受験まであと少しです。大変とは思いますが、適度な休息をとりながら、自分の未来のために、あと少し頑張ってください。



歯の治療終わっていますか？

むし歯あり

43人



未治療者

21人

まだ半分の人から治療の報告を受け取っていません。
むし歯は自然とは治りません。
早めに治療に行きましょう。

9年間むし歯なし(3年生)

9年間学校歯科健診で、むし歯も歯の汚れも一度も指摘されなかった生徒です。

1組：伊藤千慧、松林杏珠

2組：小林諒太郎

3組：静優仁、鈴木侑、佐藤未織

4組：茅場祥太、菅原陽仁、高木琉輝、
條奈々美

5組：椎名哲志、小林梨桜

6組：南原愛梨

素晴らしい!!!



保護者の方に、歯の管理で気を付けていることをアンケートで取りました。

その結果…

①歯の健康のため、幼少期から気を付けていたこと

仕上げみがき(長い人で10歳まで)、フッ素洗口、
歯医者での定期検診、食器やカトラリーを共有しない

②中学生になってから気を付けていること

3~6ヶ月に一回歯医者での定期検診

③むし歯予防についてアドバイス

- ・時間を決めて食べる(ダラダラ食べない)
- ・食後15分以上たってから歯をみがく
- ・忙しくても、朝と夜の歯みがきをしっかり行う

アンケートにご協力ありがとうございました。

生と性に関する出前授業・学校保健委員会開催

12月13日に、助産師の金子千春様をお招きして、3年生を対象に「生と性に関する出前授業」を行いました。PTA 保健部と本部の方にも授業を参観いただき、その後「学校と家庭で行う生教育」をテーマに学校保健委員会を開催しました。

私たちの始まりは「受精卵」

針で小さな穴をあけたほどの大きさの受精卵から私たちの命は始まりました。

それから心臓が出来始める妊娠4週の頃には、米粒ほどの大きさになり、大豆くらいの大きさになるのは7週頃。細胞分裂を繰り返し、少しずつ少しずつ大きくなって私たちは誕生しました。

命と向き合う助産師さんだからわかる生や性についてとても分かりやすく、そして楽しくお話ししていただきました。一人一人に用意していただいたお米や大豆と映像を見ながら、命の誕生について、妊娠をするということ、性感染症について学ぶ貴重な一時間になりました。



穴の空いた紙を除きながら、受精卵の大きさを確認中



妊婦の腹部エコー。胎児の成長を知る。

その後、保護者の方と職員で学校保健委員会を開催しました。

「性について教えることは生き方を教えること」

「うちの子にはまだ早い」「自然と覚えるだろう」と考えるのではなく、大切なこの命をどう生きるのか、自分のこととして考え、幸せに生きていくために、大人が連携して教えてほしい。という話をさせていただきました。

たくさんの意見が飛び交い、とても有意義な時間でした。

2021年も、学校保健活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございました。来年もよろしくをお願いします。

また、お子様の心身のことで、何か心配なことがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。